

2. 指標設定

成果指標	指標名	母子家庭の自立		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			母子家庭の自立支援を目的とした事業のため			
活動指標	指標	a	支援施設措置件数	b	相談件数	c		d
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
母子家庭の自立		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 支援施設措置件数	件	1 件	3 件	0 件
b 相談件数	件	2 件	28 件	12 件
c	件	—	—	—
d	千円			

4. 課題と対応

課題
対象者(団体)の財政的自立
対応（改善点等）
支給の適正化と支援事業の周知を図るための広報を実施する

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

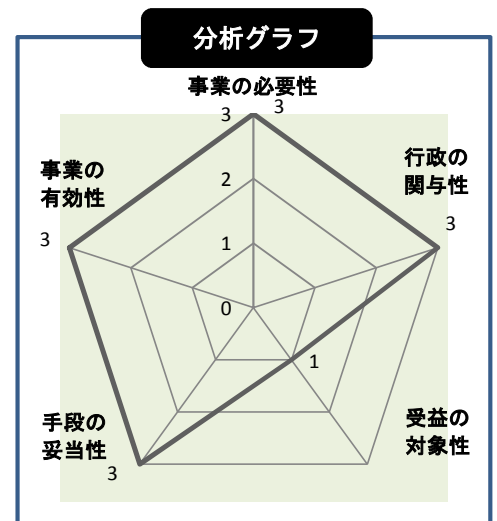
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		3,998	4,129	3,476	8,016
財源内訳	国費	180	300	56	2,103
	県費	206	281	132	1,348
	市債				
	その他	38	7		1
	一般財源	3,574	3,541	3,288	4,564
うち経常		3,574	3,541	3,288	4,125
事業費に係る人件費		5,547	5,694	5,590	5,582

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
国県の補助事業であるため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 国の制度のため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により定められているため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 母子家庭の母等に限られているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 対象者のニーズに応じた対応が図られているため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	的確な実態把握を行い、補助金交付要綱に即した事業を実施すること